

目次

特集

おもしろ野菜クラブ	2・3
さかなの学校	4
福祉活動ファイル	5

活動ファイル

フードドライブ	6・7
GM 講座	
協同組合フェスティバル	
それでも再稼動?	
千葉商科大学見学	

ブロック活動ファイル

美ママトレ会	8・9
健康な牛を育てる	
日本の米育ち三元豚	
甲状腺エコー検診 in ちば	
「食べない消費材」生産者交流会	
グローバルハピネス	

千葉グループ お知らせ

生活クラブ風の村 VAIC-CCI	10・13
はぐくみの杜を支える会	
UWN ちば アーシアン W.Co	

イベント・情報

理事長メッセージ / 申込書

1月のデポー



さかなの学校



組合員の皆さんに 11 月理事会の報告をします。

- 2018 年度の地域集会を 1～2 月に開催します。2019 年度方針案について説明と意見交換を行います。
- 2 月 1 日 (金)、美浜文化ホール (千葉市美浜区) でエネルギーを題材にしたドキュメンタリー映画『おだやかな革命』の自主上映会を行います。この映画には生活クラブ風車「夢風」の取り組みも取り上げられています。

みも取り上げられています。

3. 機関紙『コルザ』リニューアルに向けた「広報プロジェクト」中間報告がされました。若い子育て層から高齢のベテラン層まで幅広いターゲットに向け、フルカラー 8 ページ、加入間もない組合員にも読みやすい内容になる予定です。4 月リニューアルに向け準備をすすめます。

10 月の組織報告 総供給高 712,747,182 円

総組合員数 42,912 人 (班 4,952 人 個別 21,056 人 デポー 11,962 人 経済共済 4,942 人)

発行 / 生活クラブ虹の街 発行責任者 / 木村庸子 編集 / 組織部

〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 tel 043-278-7671 fax 043-279-7490 <http://chiba.seikatsuclub.coop/>

★本紙は、古紙再生紙、ベジタブルインキ、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。UD FONT

虹の街 Facebook はこちらから→



本部 043・278・7671/ センター柏 04・7134・3801/ センター千葉 043・278・7629/ センター佐倉 043・461・7868
 センター松戸 047・385・4646/ センター市原 0436・60・1583/ センターベイ 047・379・1540/ デポー真砂 043・278・0112
 デポーみつわ台 043・287・2414/ デポー新松戸 047・348・1210/ デポー大津ヶ丘 04・7191・7359/ デポー松葉町 04・7134・0697
 デポー浦安 047・353・0135/ デポー木刈 0476・40・6811/ デポー園生 043・290・0090/ デポーおたかの森 04・7155・5505

特 集

2019
年度も開校予定

みなさんで参加ください。



2～4 ページは、
HP でカラーで
ご覧になれます。

2018
年度 おもしろ野菜クラブ

おもしろ野菜クラブは、生産と消費をつなぎ、組合員やその家族が生活クラブで扱う青果物への関心を高めることを目的に企画しました。今年度も野菜にまつわる楽しく有意義な活動を元氣クラブと連携して実施することができました。

消費委員会

まとめ

- ・ 田んぼの学校
- ・ やさいの学校
- ・ トマトの学校

たのしかった！
おもしろかったよ！
おいしかったよ！

・ さかなの学校は 4 ページ



昨年度の田植えの様子

J A ちばみどり自主開発米部会でつくっているお米は、「ちばあさひ米」です。



田んぼの学校

場所…旭市 ^{かなやたけし} 金谷斌さんの田んぼ

先生…^{かなやのぶひで} 金谷暢秀さんと

J A ちばみどり自主開発米部会の皆さん

5 月 5 日 田んぼの学校開校・田植え

出席…92 人 (大人 51 人、子ども 41 人) /25 家族

天気に恵まれ、元気に田植えをしました。写真①

9 月 8 日 稲刈り 中止



田んぼの学校は、「ちばあさひ米」の生産者の J A ちばみどり旭・自主開発米部会の皆さんの協力のもと、生産者から直接、田植えのレクチャーや田んぼの 1 年についての話を聞くことができ、お米を予約して食べることの意義を知る機会となっています。

たくさんの手間をかけてつくられているお米。これからもみんなで食べ続けていきましょう。



①

「田んぼの学校稲刈り」は、残念ながら中止となってしまいました。

中止の理由は、高温と雨が多かったことにより稲の生育が早まり、収穫適期が早まってしまったためです。提供していただいている田んぼは、生活クラブの「ちばあさひ米」のお米を生産する田んぼの一部のため、収穫時期をずらすと、品質の良いお米を収穫することができず無駄になってしまいます。稲刈り後も、脱穀や乾燥・もみすり→玄米などお米になるまでにはさまざまな工程があります。

参加を予定されていた皆さま、申し訳ありませんでした。2019 年度の企画にもぜひ、ご参加ください。

消費委員会

特 集

やさいの学校

農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク

場所…山武市植生谷

5月12日 落花生の種まき② 出席…26人(10家族)

開校式・オリエンテーション

畑作業…落花生の種まき

さんぶ野菜ネットワークは農薬や化学合成肥料をできるだけ使わない栽培を行っている生産者グループで、生活クラブに出荷している野菜の90%が「あっぱれ」野菜です。肥料は魚粉や骨粉を混ぜた有機配合肥料。

今回の畑の提供者は、川並さん夫妻。新規就農に向けて研修中です。薬品の防除処理をしていない落花生の種をマルチにあいた孔に2粒ずつまいて軽く土をかけていると、遠くにキジの鳴声と姿が。鳥よけの紐を畑を囲むように張りました。

9月1日 落花生の収穫③と昼食交流会④

出席…24人(9家族)

無事に発芽してぐんぐん育った落花生。農薬不使用なので草取りは川並さん夫妻がしてくださっていました。落花生の株を引き抜き、たくさんついている実を1つ1つ選別しながらの収穫は、暑いなか、大変な作業です。その後はお待ちかね女性部(サンSUNママさん)作の、落花生や旬の野菜の料理。野菜が苦手なお子さんがバクバク食べていたり、交流会で直接貴重なお話を聞けたり、お腹いっぱい大満足の実りある一日になりました。



落花生は根にできるのではなく、花が枯れた後に伸びてくる茎のようなものが地面に刺さり、その先に実ができます。



トマトの学校



生活クラブ風の村とんぼ舎さくら

場所…佐倉市生谷 とんぼ舎さくらの福祉農園

4月29日 定植 午前・午後の部 出席…57人(16家族)

天気にも恵まれ、番号を振られたマルチシートの穴に、一人ひとりがいねいに苗を植えました。⑤ 定植作業の前に、コーミ(株)の相馬英輔さんから、生活クラブのトマトケチャップやその原料国産トマトの生産量が5%であることなど、を聞きました。作業後、とんぼ舎さくらで、田邊樹実さんからとんぼ舎さくらの行うユニバーサル農業について話を聞きました。

7月29日 収穫 悪天候のため中止になりました。後日、農薬を使わず有機肥料で育てられた加工用トマトはとんぼ舎さくらのユニバーサル農業の皆さんたちが収穫し、デボークッキングトマトとして販売されました。



定植したトマトの苗のマルチシートにマジックでサインしてます！

特 集

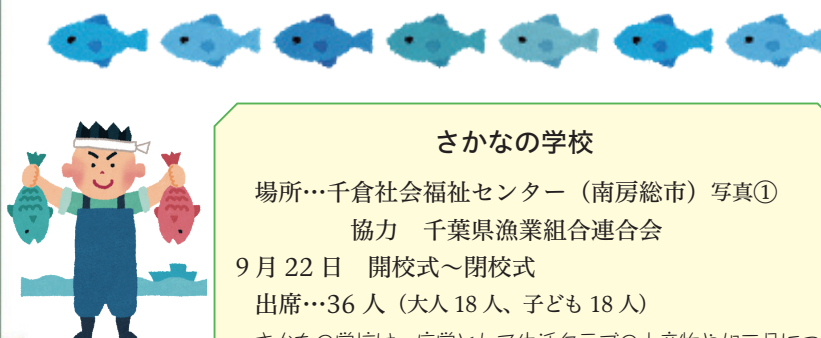
さかなの学校

おもしろ野菜クラブと同様に、生産と消費をつなぎ、組合員やその家族が生活クラブで扱う魚介類への関心を高めることを目的に企画しました。さかなにまつわる楽しく有意義な活動を千葉県漁連と連携して実施することができました。

消費委員会

たのしかった！

おもしろかったよ



さかなの学校

場所…千倉社会福祉センター（南房総市）写真①

協力 千葉県漁業組合連合会

9月22日 開校式～閉校式

出席…36人（大人18人、子ども18人）

さかなの学校は、座学として生活クラブの水産物や加工品についての話し、子どもたちも楽しめるお魚クイズもありました。① 東安房漁協女性部の皆さんからは、郷土料理の祭りずしを教わりました。② その後、昼食交流をしました。場所を移動してカネタ水産では、アジの開きのつくり方を学びました。③ 最後に、アワビ・伊勢海老・サザエの蓄養場を見学しました。④

それぞれの場所で、さまざまな体験をすることができました。最近、魚が食卓に並び機会も減っているようですが、今回の企画で、自分たちの食卓と産地がつながっていることや魚への理解がすすみました。



会場の千倉福祉センターは、高家神社の境内にあります。日本で唯一、料理の神様を祭る神社で、日本料理の伝統を今に伝える包丁式が毎年行われています。福祉センターの2階で、開校式が行われ、千葉県漁連の川名将之さんから、千葉県漁業・千葉県漁連の概要について説明がありました。東安房漁協の生産者である丸一商店社長の鈴木廣さんが、お魚博士になり、魚の絵を描きながら名前を当てるクイズを出題。さかなの特徴や生態なども教わりました。



同センターの1階で、女性部の皆さんからサザエをモチーフにした祭りずしを教わりました。昼食交流会では、丸一商店の骨取りさばみりん漬、スズ市水産のあじのさんが焼き、東安房漁協のしめさば野菜酢漬の試食もしました。



←東安房漁協の川口蓄養場。水揚げされて小さいものを育てます。資源保護のため放流しているアワビの稚貝や成長の過程・伊勢海老・サザエの生簀を見学しました。

千葉県産さんまの一ツ干しの生産者カネタ水産では、アジの開きをつくりました。大人も子どもと一緒に従業員の手ほどきを受けながら、さかなのさばき方を学びました。干物に加工され（送料実費）自宅まで届いたアジの開きの味は格別！

千葉県の水産全国順位、伊勢海老は第2位、アワビ類は第3位、サザエは第8位（千葉県 HP 水産物ランキングより） 出展：農林水産省 平成30年漁業・養殖業生産統計年報

ミニ特集

福祉活動ファイル

福祉・地域づくり企画助成

10 月 14 日、流山市おおたかの森センターにて、「地域に広げよう！みんなのこども食堂」を開催。62 人が参加しました。この企画は、柏ブロックが中心になり、こども食堂基金などで繋がりのできたこども食堂 7 団体、千葉グループの生活クラブ風の村流山、せつけんの街、ワーカーズ・あい、ワーカーズ・あい惣菜と実行委員会をつくり計画しました。

こがねはら子ども食堂代表の高橋亮さんの講演では、「こども食堂で貧困そのものを解決することは困難だが、子どもの貧困の連鎖を断つために地域でできることがあると、こども食堂を立ち上げました。貧困の連鎖は所得の問題だけでなく、親から子へ自立に必要な力を相続されていないこと。くじけそうになった時に支えてくれ、相談でき、自分を大切に思っで見守ってくれる…など、そんな大人が身近にいることで自立する力が育つ。その大人は親である必要はない」「ある少女の、ここに来るようになって、人を信じられるようになったという言葉で続けたいと思いました」この言葉に参加者が大きく頷きました。



講演後は、参加した 10 のこども食堂団体がそれぞれの特徴や思い、課題などを報告した後、ワーカーズ・あい惣菜のオードブルを囲み交流しました。

「家庭の問題が見えにくい時代です。だからこそ、おせっかいおばさん・お

じさんになって周りの子どもたちに気を配ってあげてください」と高橋さん。子どもを中心にした地域づくりの輪を広げるためにできることを考えるきっかけになったらと思いました。

福祉委員 田中寛子

海洋散骨体験クルーズ

10 月 22 日快晴。大江戸線勝どき駅徒歩 7 分の朝潮小型船乗り場に 20 人が集合しブルーオーシャンセレモニーの海洋散骨体験クルーズへ出航。

概要説明の後、多少の波や風でも揺れないポイントの京浜運河に入ると仮想お別れ式が始まり、喪主挨拶、DVD で故人の写真が BGM と共に流れるなか、祭壇の遺影とお骨に各人順番に献花。今回は無宗教式ですがお坊さんや牧師さんと呼んでの式も可能です。船室には故人の趣味の物を飾るコーナーもつくれます。



散骨ポイントは羽田沖。都内の殆どのランドマークから見え、羽田空港の展望デッキから正面に見えることが場所選定の理由で、乗船できない親族も遠くから見守れます。上空をユリカモメやウミネコ、飛行機が飛び交います。

散骨用に粉碎した遺骨（今回は塩）は参加人数分の溶ける紙に包まれ、事前にメッセージを書いた「おくり鳩」に折られた紙と共に海へ、そして献花、合掌。葬送の鐘を聴き黙祷、散骨ポイントを三回周回して本当のお別れです。

帰りはシェフのデザートビュッフェを楽しみながら、事例紹介や質疑応答。散骨証明書で場所が特定される安心感、お墓参り代わりのメモリアルクルーズも人気で、散骨を期に海の清掃ボラン

ティアに参加する遺族もあるそうです。

少子高齢化や核家族、一人暮らしが増えている現在、お墓を守るのは難しく、都市部では墓地の場所の問題もあり、葬送の新しい形だと思います。折に触れ話すべき話題であると感じる一日でした。

福祉委員 西原和代

広がれ、組合員のたすけあいの輪
エコロサポーター

組合員同士のたすけあいのしくみ「エコロ制度」。昨年 7 月から制度が改訂されました。千葉ブロックを皮切りに、順次「エコロコーディネーター」を配置。組合員からの依頼に応じて、ケア者を紹介し、ケア（支援）を実施しています。そのケア者がエコロサポーター（以下、サポーター）。研修を受け、登録している組合員で、18 歳以上の組合員の家族も登録できます。

ケアの事例を紹介

ご高齢の夫婦からの庭の手入れ

夫婦でサポーター登録。サポーター稼働第 1 号のケア。当日は、枯れた木を切り、落ち葉を集めてまとめる…。最初は見ていた依頼者も次第に庭の手入れを始め、一緒に行ったことで、達成感を得られた。「ずっと気になっていた場所が片付いてすっきりしました。」このケアは、今でも定期的に行われています。

病院内での託児

エコロ制度は組合員どうしのたすけあいのしくみです。ある時はケア者の A さん。上の子の通院の際に下の子をどうしようか。ケア者に一緒に病院に行ってもらい待合室での託児が行われました。

この他、第二子出産後の上の子の幼稚園の送り迎え、ぎっくり腰の方の家事援助、退院後の部屋の片づけなど、エコロサポーターの活躍の場はさまざまです。組合員のたすけあい輪、もっともっと広がってほしいものです。

理事 宮内京子



活動ファイル

フードドライブ

生活クラブ虹の街は、食品ロスの削減と生活困窮者への支援に取り組むフードバンクちばの活動に賛同し、2016 年度、配送トラックによる「フードドライブ」を開始しました。フードドライブとは、「家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動」で、虹の街では、組合員を対象に、配達時やデポー（店舗）で食品の回収を行っています。

2018 年度（第 6 回）は、9 月 10～21 日、フードドライブを実施。徐々に認知度も高まり、多くの組合員の協力を得ることができました。ご協力、ありがとうございました。

2018 年度第 6 回フードドライブの結果

参加した組合員	総重量
313 人	930.8kg

2019 年度第 7 回フードドライブは、1 月 28 日（月）～2 月 8 日（金）に実施します（デポーは 2 月 8～10 日）のでご協力をお願いします。フードバンクちばに寄贈した食品は、地域の福祉団体や施設・個人等に提供されます。

詳しいことは、1 月 21 日から配布のちらしをご覧ください。

福祉・たすけあい事業部 柴山聡太



センター千葉↑センター市原↓



GM 講座

11 月 1 日、モリシアホールで「遺伝子組み換え操作された食べものってなあに？～健康・環境への影響から新技術まで～」を開催。100 人が参加しました。



講師は印鑰智哉^{いんやくともや}さん。ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』の日本語版の企画・監訳をしています。

「ミジンコとヒトの遺伝子ではミジンコの方が 1 万個も多く、女王蜂と働き蜂は遺伝子は同じですが食べ物により細胞がつくり変えられます。

日本では、遺伝子操作された作物の商業栽培は禁止されていますが、承認数はなんと世界 1 位…。輸入された GM 大豆・トウモロコシなどが姿を変えて水飴・乳化剤・アミノ酸・コーンスターチ・アルコール・合成甘味料等になり食品に紛れ込んでいます。包材の表示だけで判断するのは難しい現状です。遺伝子組み換え (GM)・ゲノム編集・RNA 干渉・合成生物学等さまざまな技術により自然交配ではありえないものができています」と印鑰さん。

「では、遺伝子組み換えって何が問題でしょうか？① Bt 毒素は、虫の腸を破壊して殺す殺虫剤です。これを遺伝子に組み込んだ GM トウモロコシは食べ物なのに殺虫剤としても登録されています！② GM 作物に除草剤グリサホートが大量に含まれている③抗生物質耐性バクテリアの蔓延の危険を高める④予測不可能に生成されるアレルゲンなどの有害物質があります。米国にはさまざまな慢性疾患が GM 栽培開始時期から急増したデータがあり、因果関係について各国で研究しています。GM 食品を食べることにより Bt 毒素が腸壁の細胞の結合が緩み消化器官機能が損なわれるリーキーガッ

ト症候群。日本のホームセンターでも簡単に手に入る除草剤のグリサホートも、ガン・出生障害・慢性腎臓病・アレルギーなどの要因の可能性が指摘されています。

米国のアレルギーで苦しむ子の母親たちが GM 問題に気付き、食べる物から GM を摂取しないようにしたところ改善したことから反対運動を行いました。今ではスーパーに NON-GM やオーガニック（有機栽培）の商品がたくさん売られています。逆に気付いている消費者が少ない日本では GM 食品がどんどん増えています。これを阻止するには、飲料・菓子・外食・加工食品に多く使われていることを視野に入れ、不明の商品は製造会社に問い合わせをしたり NON-GM 製品をつくってほしいなどの声を届けるのも GM を変えられる一歩となります。これまでの生活クラブの活動もその一翼を担ってきたといえます」と印鑰さん。

生活クラブの GM に関する組合員活動は 1997 年から始まり、署名運動や自生 GM ナタネ調査などを行ってきました。GM 食品を使わずに（例えばアルコール・GM トウモロコシではなく）さとうきびを使用するなど「GM 対策済」の消費材をつくることで安心して利用することができます。

ぜひ、この現状を多くの人に広め、健康を手に入れるために、安全な食料が利用できる未来をつくっていきましょう。環境委員 深町知子

第 29 回協同組合フェスティバル



11 月 11 日、千葉ポートパーク円

活動ファイル

形広場にて「協同組合フェスティバル～海と大地とくらしの祭典～」が開催され、秋晴れのなか 1 万人の来場者で賑わいました。県内のさまざまな協同組合等の活動を PR するイベントは今年で 29 回目。生活クラブは、パステライズド牛乳・チーズの生産者の新生酪農(株)と試飲・販売を行いました。

シェイクするだけのバター作りも大好評で、おいしく楽しい生活クラブをアピール。新しい仲間が 3 人増えました。

組織部 田中春菜

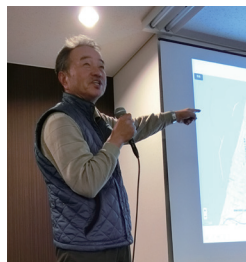
それでも再稼働？

11 月 23 日、快・決い会議室（東京新宿区）にて「それでも再稼働？新潟の原発～柏崎刈羽原発を止めようフォーラム～」が開催されました。主催のフォーラム実行委員会は、生活クラブ東京の環境政策委員と生活クラブ神奈川・埼玉・千葉の理事がメンバーとなり、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働をストップさせるべく、2018 年 7 月から準備をしました。当日は生活クラブの組合員や生活クラブ東京の運動グループ・然エネルギー関連の方など 138 人が参加し、熱気あふれる集会となりました。

飯田哲也さん（認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所所長）の「脱炭素・再生可能エネルギーの推進で、柏崎刈羽原発再稼働を止めよう」と題した基調講演では、「世界では自然エネルギーがどんどんすすんでいます。原発は、自然エネルギーよりもコストがかかるのに、日本のエネルギー基本計画は原発をベースロード電源としているのは問題です。しかし、各地に広がるご当地電力が日本のエネルギーの未来を明るくしています。エネルギーも地産地消の時代。太陽も風も、

私たちの周りにいつもあるもの。自分たちでつくり利用すれば、遠くの原発から電気を送る必要はありません。『核や石油による戦争』から『太陽や風による自立・平等・平和へ』のシフトが必要です」と飯田さん。

次に、武本和幸さん（原発反対刈羽村を守る会代表）の柏崎刈羽原発を巡る最近の地元の動きについて報告がありました。



「大学生だった 1969 年、柏崎刈羽原発の計画が発表されてからずっと地元の反対運動に関わってきました。当時から劣悪地盤であることを指摘し、2004 年の新潟県中越地震および 2007 年の中越沖地震の調査・災害査定を行ってきました。

『豆腐の上の原発』ともいわれ、2007 年の地震では原子炉建屋で液状化やタービン建屋の浮沈が起こり、大量の地下水もあることからひとたび災害が起これば福島第一原発よりも大きな被害が及びます」と武本さん。

地元の住民の恐怖は計り知れないと胸が痛くなる思いがしました。

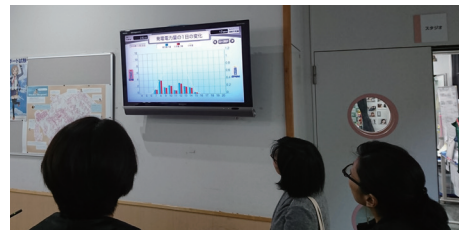
10 月 8～9 日に新潟で行われたスタディツアーの報告がありました。生活クラブ東京の環境政策委員の岡部和代さんは、柏崎刈羽原発の現地視察での東京電力の曖昧な対応に「何を質問しても、想定外はあり得ない、大丈夫という対応に驚きと憤りを感じた」と話しました。

最後に「柏崎刈羽原発の再稼働を止めよう」宣言を会場全員で確認し「3.11 を忘れない。すべての原発を止めることを求めていくが、首都圏に住む私たちは東京電力が再び原発を稼働させることをみとめることはできない。柏崎刈羽原発の再稼働を止めよう」と宣言しました。

副理事長 並木道代

千葉商科大学見学

11 月 30 日、千葉商科大学（市川市国府台）の先進的な自然エネルギー設備を見学。環境担当の理事・運営委員など 10 人が参加しました。



ほらしなさちひこ

千葉商科大学学長の原科幸彦さん、サイエンスアカデミー客員准教授の田中信一郎さんに話を聞きました。

「当大学では、日本初の『自然エネルギー 100% 大学』をめざし日々活動しています。自然エネルギー 100% とは、大学での発電量と消費エネルギー量を同量にするという考えで、これまでにグラウンド跡地（野田市）にメガソーラーを設置し、エネルギー使用量の見える化（写真上）等を行い、100% まで残り数% になりました。しかし、これを達成するためには、活動の担い手となる人の気持ち『ハートウェア』が大切です。学生が自ら問題に気付き、行動することが重要です」と原科さん。



この考え方は、私たちの活動にも通じる所があります。環境委員会でもさまざまな活動を通し、今後、持続可能な社会をめざしていくために、いかに活動に関心を持ち、自ら行動するように促すかが重要になります。今回学んだ千葉商科大学の取り組みを参考に、今後の活動に活かしていきます。

組織部 環境担当 宮間亮介

ブロック活動ファイル

* QR コードで各ブロックの Facebook へ！



柏ブロック

美ママトレ会

11 月 19 日、センター柏にてコミュニティ・美ママトレ会を開催しました。美ママトレ会は、筋トレの先生と 1 時間みっちり筋トレを行い、そのあと参加者全員でランチをつくって食べるという活動を毎月行っています。ランチには、柏ブロックが決めた月ごとのアピール消費材を使用し、参加者と消費材のミニ学習会をするなど、ブロック運営と連携をしています。

毎回参加者は 8～12 人で徐々に常連さんも増えています。今回は 10 人

が参加し、スクワットを中心に下半身の筋肉を鍛えました。30 分も続けると、あちこちから「きつい」の声が！！

お楽しみのランチ♪は、ブロックの重点品目であるえびをアピールする、えびとブロッコリーと卵のデリ風サラダ。エコシュリンプと市販のむきえびの食べ比べでは、お湯でさっと茹でただけのえびをゆで汁ごと試食。食べた瞬間のぷりっぷりの食べ応え、海水の自然な塩味、上品なだしを感じるゆで

汁、どれをとってもエコシュリンプに軍配が上がりました。

身体を鍛え、身体に良いものを食べ、おしゃべりをしてリフレッシュする。美ママをめざして、毎月楽しく活動している美ママトレ会にぜひ遊びにいらしてください♪

運営委員 古在ゆき



松戸ブロック

健康な牛を育てる

11 月 8 日、センター松戸に北海道チクレン農協連合会の大口晋也さんを招き、牛肉学習会を行いました。36 人が参加しました。

「北海道チクレンでは、乳牛にならないホルスタインのオスを中心に約 5 千頭を生活クラブ仕様で生産しています。牧草はすべて北海道産でポストハーベストフリー。遺伝子組み換えでないとうもろこし・大豆にビタミンを加えた配合飼料。抗生物質・ホルモン剤（成長・女性ホルモンなど子宮がん

の原因が疑われ EU でも禁止）不使用。免疫力のある子牛を育てるため、母牛の初乳を与える。牛の状態を細かく観察し、病気の早期発見・治療。良質な牧草をたっぷり与え、内臓を丈夫で健康に。寝床はおがくず等を敷き、清潔でストレスのない環境で、密飼いせず、頭当たり 2 坪を確保。にもかかわらず、利用が年々低下し、2016 年は 14 戸だった酪農家は 18 年には 9 戸に減少しました」と大口さん。

安全に育てられた赤身の牛肉はおい



しく、必須アミノ酸を含んだ良質なたんぱく質や美肌効果のあるビタミン B 群もたっぷり。ビタミン・ミネラルも多く鉄分は豚肉の 4 倍。低脂肪・低カロリーで脂肪燃焼効果のあるカルニチンは鶏の 4 倍。美容と健康、そして供給を維持するためにも、ぜひ食べたいお肉ですね♪

運営委員 山田るりか



ベイブロック

日本の米育ち三元豚

11 月 15 日、センターベイにて、(株)平田牧場の門脇公介さんを招き、豚肉学習会を開催しました。51 人（内、員外 5 人）が参加しとても賑やかな会となりました。

「私たち人間が年間 40～50 kg のお米を食べるのに対し、豚は給餌 300 kg 中約 73.5 kg 飼料用米を食べています。それにより、脂肪の溶ける温度が下がるのでお肉もおいしくなるんです」と門脇さん。

市販のものと比較して、育つ環境・

飼育日数・餌（遺伝子組み換えでない・収穫後の農薬散布がないなど）の違いがわかり、「安心安全な豚肉を！豚の健康を第一に！」とさまざまな努力をされていることがよくわかりました。

平田牧場と生活クラブの歴史、豚の種類、飼料米の話など改めて確認することができ、いつも食べている豚肉がさらにおいしく、有り難く感じました。栄養面においても、ビタミン B1 はうなぎの 2.6 倍！疲労回復にはぴったり！



好評の豚肉半身の解体では門脇さんの華麗な包丁さばきと共に部位の説明があり、無駄なく消費するために部位をバランスよく・ひき肉を利用することが大切だと思いました。

運営委員 星野 維

ブロック活動ファイル



千葉ブロック

第2回甲状腺エコー検診 in ちば

11月11日、デポー真砂・地域交流スペースにて、甲状腺エコー検診を開催しました。甲状腺検診ちばの会と千葉ブロックとの共催で、去年に引き続き2回目の開催です。子どもと大人合わせて34人が受診し、ボランティアスタッフとして、組合員や職員が複数参加しました。

3.11の放射能の影響は、ここ千葉県でも残念ながら無視することはできません。チェルノブイリ周辺では、原発事故後数年経ってから子どもの甲状腺

腺の異常が多く見つかっています。

今回の検診は、組合員の有無は問わず地域で甲状腺検診を希望するお子さんを主な対象としました。今回初めての検診という方も多く、まだまだ周知が必要だと感じました。

当日は、医師による学習会（放射能および甲状腺に関する内容）を冒頭に行い、予備知識を得た上でエコー検診へ。検診中は親御さんも同席して、エコー画面を医師と一緒に確認しました。始めは緊張ぎみのお子さんも、スタッ



フや医師の笑顔に迎えられて、エコー検診を終えることができました。

甲状腺検診ちばの会では、3月に検診を予定しています（別会場）。興味がある方は、日程が近づいたら「甲状腺検診ちばの会」のブログを確認してください。 運営委員長 畔上久美



佐倉ブロック

「食べない消費材」生産者交流会

11月29日、佐倉市志津公民館にて(株) ジャパンビューティープロダクツ(JBP) 生産者交流会をコミュニティ2486の会と連携開催しました。参加者は8人。JBPの第二事業部営業部安藤建司さん・井上亜紀さん、美容講師の進藤幸子さんから話を聞きました。

JBPは、さまざまなメーカーからの依頼を受けて化粧品の開発・製造を行う専門メーカーです。大手化粧品メーカーの製品もつくっていますが、自社名で出しているのは生活クラブのみ。

中身にも一番こだわっています。

以前は発色・色持ちの良いタール系色素が入っていましたが、組合員の要望を受け、5年かけて抜きました。旧指定成分・紫外線吸収剤・香料・鉱物油・パラベンも不使用。その他、品質へのこだわりや情報開示（原料の製造元・原産国まで把握、原価計算を開示し適正価格に努めている）も、食べ物の消費材と同様に安心・安全につくられていることがわかり、ますますファンになりました。



参加者の「生活クラブの化粧品は高品質なことが分かって安心した」「使用したことがなく、購入を迷っていたが、安心・安全で他メーカーよりずっと安いのはすごい！」などの感想からも、多くの発見があった交流会になりました。 運営委員長 紅谷秋恵



市原ブロック

グローバルハピネス

11月3日、木更津市潮浜公園で行われた「グローバルハピネス」（主催：オーガニックライフ推進協議会）に、生活クラブ生協として出店しました。

広くてきれいな芝生の上のテントのブースに、パスチャライズド牛乳やアイスクリーム・トマトとマスカットのケチャップをつけたポークウィンナー・温州みかんジュースなど生活クラブ自慢の消費材の試食コーナー、拡大コーナー、添加物でジュースをつくる実験コーナーを設置しました。

会場はとても広く、ミュージックライブステージやワークショップが催され、たくさんのオーガニックやナチュラルな食べ物や手作り雑貨の店が並び、ブロックのコミュニティや組合員の方も出店していました。

時折パラリと雨がちらつくなか、赤ちゃん連れのご家族・小学生から年配の方まで、多くの方が試食をしました。多くの皆さんが「おいしい！」と。実験コーナーでは、添加物だけでジュースができていくように驚きの声。



食べ物への意識の高い方も多く、当日5人が組合員になり、嬉しい成果のあった出店となりました。

運営委員長 松田あすか



生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連 9 団体の
総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社
会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル 4 階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

<http://www.kazenomura.jp/>

e-mail: info@kazenomura.jp



CANS での相談のようす

児童養護施設退所後の自立支援について

かつて、児童養護施設から独り立ちをしていく青年
たちの実情は「強いられた自立」と評されていました。
それは、高校進学を断念した 15 歳。なんらかの事情
で高校を中退したハイティーン、高校を卒業した 18
歳は、高校生という肩書を失った途端に、有無を言わ
さず誰もが施設からの自立をしなければならなかつ
たからです。私も 15 歳の少年が、住み込み就職をす
るためにボストンバッグ一つで巣立つ姿を、何度も見
送ってきました。進学もままならず、学力もあり大
学へ行きたいと思いながらも、泣く泣く就職をした
青年にしてあげられたことは記念受験ぐらいでした。

未熟な年齢で頼る人を持たずに社会に出ていく青
年たちは、一人ぼっちで社会で生きる厳しさに耐え
られず、多くの青年がドロップアウトしました。寄
る辺なき青年たちは、そこからたった一人で這い上
がらなくてはならないという失敗の許されない状
況になってしまいます。

自立とは「上手に人に頼ること」。社会的養護を必
要とする子どもたちにも、失敗してもやり直せるチャ
ンスが必要です。お金もなく、住む場所もなく、働

く場所もなく、自己肯定感が低く、頼る人を持たな
い青年たちに、雨風が凌げて、3 食食べられて、布団
で寝られる、そして心配してくれる人がいる場所が
自立援助ホームです。

人力舎君津は、2004 年に千葉県では初、全国では
26 番目のホームとして誕生しました。時代は変わり、
社会的養護を必要とする子ども達への自立支援制度
はかなり整ってきました。高校卒業後の進学支援も
広がり、さまざまな自立支援団体も誕生しています。
しかし、やはり課題になるのは、「孤独」との戦いです。

経済的にも、支援の輪は広がりましたが決して十
分ではなく、生活と学業をたった一人で両立させて
いくことは精神的な強さも要求されます。

社会生活は、予想できない壁が次々に押し寄せてき
ます。初めてのこと、やったことがないこと、どう
すれば良いかわからないことにぶつかった時に、人
には良き相談相手が必要です。それが、アフターケ
ア事業所、ちばアフターケアネットワークステーショ
ン、通称 C A N S ^{キャンズ} です。

はぐくみの杜君津（児童養護施設） 施設長 高橋克己

新設事業所紹介

生活クラブ風の村 障がい相談支援事業所こもれびさくら

2018 年 11 月 1 日、開所となりました。

風の村の基本理念である、誰もがありのままそ
の人らしく地域で過ごされ、楽しくうるおいのある
生活ができるように、お手伝いをさせていただきます。

また、障がいのある方やご家族の方から、悩みご
とやご希望をうかがい、思いを受けとめながら、地
域で安心して暮らせるよう、各関係機関と連携して
取り組んでいきます。

澄んだ青空のもと、木々のあい間から降りそそぐ柔

らかな木漏れ日のように、
地域の皆さまに寄り添い
ながら一緒に考えていき
たいと思っています。

その他にも、日常生活
全般に関するさまざまな
ご相談に応じて、必要な情報を提供していきます。
お気軽になんでもご相談ください。

相談支援事業所こもれびさくら 所長 萩原よし美



〒285-0837 佐倉市王子台 1-14-12 スズノキビル 1 F

tel : 043-462-5772

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

はぐくみの杜を支える会

今年もよろしくお願いいたします。

すべての子どもの笑顔のために。

【住所】君津市糠田 64 番地

tel & fax : 0439-32-2270

http://hagukuminomoriwosasaerukai.jimdo.com/

e-mail: hagukumi-sasaerukai@aroma.ocn.ne.jp (NPO) はぐくみの杜を支える会



援によって大きく変わり、未来に幅をつくれます。ここで暮らすことを余儀なくされた子どもたちが、巣立ちの時に希望する道を「選ぶ」ことはとても大切です。「その子にあった自立の手伝いが少しでもできれば」というこの事業を組み立てることができると、皆さまからのご理解とご協力があればこそです。

巣立ちを迎える子の人生は、まだまだ始まりです。これからたくさんのことがあると思いますが、どの家庭でも同じように、手伝ってあげられることは大きくなればなるほど少なくなります。それでも、その子の心のなかに、皆さんの想いが暖かくそっと寄り添い、未来を明るく照らす灯りの一つとなればと思います。

副理事長 山本百合

新年のご挨拶

新年があけました。

しばらくはぐくみの杜のスタッフの頭をいっぱいにしてきた「クリスマス」と「お正月」のイベントも過ぎ、寒い間はインフルエンザなど感染症の脅威と戦う時期になります。はぐくみの杜を始め、あかちゃんの家・人力舎でもさやさやかながらの年末・年始とお祝いの食卓が穏やかに囲めたことをご報告します。みなさんのご支援がそっと寄り添っています。ありがとうございます。

はばたき基金

春を迎える準備が秋から始まり、支える会の自立支援事業もこれからが本番となります。自立支援事業のための「はばたき基金」の寄付は、11月28日現在116人から805,900円となっています。目標は100万円なのであと少し、お志に感謝でいっぱいです。

皆さまからの年会費の一部も積み立てていますが、「はばたき基金」は、今の時期の寄付によってつくられます。

自立を迎えた子どもたちの一歩は支

VAIC-CCI

千葉市子育てリラックス館（親子ひろば）

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】千葉市稲毛区園生町 1107-7

tel : 043-290-8015 fax : 043-290-8016

http://www.vaic-cci.jp/

e-mail: info@vaic-cci.jp

(認定 NPO) VAICコミュニティケア研究所



私たちは、一人ひとりの暮らしを大切に、暮らしやすい地域づくりのために、ボランティア・子育て・障がい者・地域交流の支援、生活支援など、さまざまな事業に取り組んでいます。



VAIC-CCI は、「幸町子育てリラックス館」・「子育てリラックス館園生出張ひろば」の運営を千葉市から受託しています。

たくさんの親子が利用

昨年度、幸町はのべ 3231 組、園生はのべ 457 組の親子が来館しました。2 人のアドバイザーが常駐し、子育て支援や相談に応じています。

イベントや子育て情報満載

幸町では読み聞かせやベビー・キッズマッサージなどを定期開催。産休中や里帰り出産の方も多く、子どもを遊ばせながら情報収集しています。

これからのイベント

(幸 町)

1 月 30 日 (水)

10:30 ~ 11:30

人形劇

『はるかぜはるるん』
『おかえし』



幸町子育てリラックス館
(写真上)

千葉市美浜区幸町 2-12-1 しょうじゅレジデンス 1F
<開館日時> 月～土曜日 10:00 ~ 16:00

子育てリラックス館園生出張ひろば

千葉市稲毛区園生町 1107-7 生活クラブいなげビレッジ虹と風 2F
<開館日時> 金曜日のみ 10:00 ~ 16:00



詳細は HP を
ご覧ください

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

UWN ちば

チャンス創造ファンドで「支援格差」をなくしたい！

誰もがはたらきやすい社会をめざして。



【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304

tel : 043-306-2564 fax : 043-306-2574

http://uwnchiba.net

e-mail: info@uwnchiba.net

(NPO) ユニバーサル就労ネットワークちば

寄付にご協力をお願いします！

3 人に 1 人は経済的な問題で
就労体験などのプログラムを断念

ユニバーサル就労ネットワークちばでは、働きづらさを抱える人の就労支援を行っています。虹の街の配送センターでの就労体験などを始めとして、皆さんのご厚意で多くの事業所で就労体験ができるようになりました。しかし、就労体験に参加したくても交通費が出せずに支援を受けることすら断念してしまう方が多いため、私

たちは「チャンス創造ファンド」という、多くの方からの寄付で交通費の支給ができる仕組みをつくりました。

寄付は「モノ」でも可能です！

ご自宅にある不用品を送っていたくことで寄付に繋がる「お宝エイド」。不用になった携帯電話や CD・ゲーム・貴金属やデジタルカメラなどを箱に入れて、ゆうパックに集荷依頼をするだけで送料もかかりません。「お宝エイド」で査定をした金額が当法人に寄付として振り込まれます。

寄付のご案内 1口1,000 円から

① 3,000 円の寄付で

当事者 1 人が相談 (1 回) と就労体験 (2 回) に通う往復交通費が捻出できます。

② 5,000 円の寄付で

当事者 1 人が就労体験 (1 カ月 / 週 2 回) に通うための往復交通費が捻出できます。

郵便振替 ゆうちょ銀行

口座番号 : 00140-4-587728

口座名義 : 特定非営利活動法人

ユニバーサル就労ネットワークちば

クレジットカード決済

ページ内の QR コードから当法人の
サイト上で決済ができます。

「お宝エイド」の詳しくは、
当ホームページをご覧ください
(右 QR コードから) …→



一人でも多くの人が交通費の心配
をすることなく就労支援を受けられる
よう、ご協力をお願いいたします！

アーシアン

ラオス報告会を開催します！

毎日の暮らしに、フェアトレードを。

【事業本部】千葉市美浜区真砂 5-21-12 1F

開所時間 13:00 ~ 16:00 (水・土・日・祝日休み)

tel & fax : 043-279-8665

http://www.jca.apc.org/earthian

e-mail: earthian93@jca.apc.org (NPO) 地球市民交流基金 EARTHIAN



アーシアンは日本国際ボランティアセンター (JVC) のラオスプロジェクトを長年支援しています。昨年 11 月に JVC のラオスツアーに理事 2 人が参加しました。ラオスの村人の暮らしや JVC の取り組みを皆さまにお伝えしたいと思います。ぜひご参加ください。

日時 : 1 月 29 日 (火) 13:30 ~ 15:00

場所 : 生活クラブ虹の街 本部

1 階 地域交流スペース 渚 B

*参加申し込みは上記アーシアン事務所までお願いします。

JVC ラオスプロジェクト

ラオスは、東南アジアの内陸国で日本の本州位の面積で人口は 650 万人、人口密度は 1km² あたり 30 人 (日本 337 人)。国民の 60% は農村部に住み、米や野菜をつくっています。豊かな森は食料や薬草・建築材料などの恵みをもたらす村民の暮らしを支えています。

しかし近年は経済成長がすすみ大規模な開発が行われて農地を取り上げられたり、森林の伐採や水質汚染などの問題がおきて村人の暮らしを脅かしています。プロジェクトの目的はこれらの問題に対して村人自身が暮らしをまもるための力を持つことです。そしてこの取り組みがモデルケースとして広がることをめざしています。

入会
案内

年会費 : 正会員 (議決権あり) ・支援会員 共に 6,000 円

*生活クラブ組合員は共同購入代金と同時引き落とし (毎月 500 円) ができます。

連絡先 : アーシアン事務所 (上記)

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

W.Co 連合会

地域に発信！ 繋がるワーコレのエリア活動

ワーカーズ・コレクティブで暮らしをデザイン

【住所】 柏市十余二 380-97

tel & fax : 04-7134-0072

http://wcochiba.org/

e-mail: wcochiba@s2.dion.ne.jp



(NPO) ワーカーズコレクティブ
千葉県連合会



ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) 通称ワーコレは、働くことを通して街づくりに参画することを目的にしています。W.Co 千葉県連合会の地域に向けた活動の主体をエリア活動として、千葉県を3つ(東葛・京葉・下総)に分け、業種を超えて地域と繋がる活動に取り組んでいます。

東葛エリア

虹の街該当ブロック
柏・松戸ブロック

東葛エリアではワーコレを多くの人に知ってもらうための道具として、各事業所の事業内容や住所を記載したリーフレット東葛版を作成し、新松戸デポリーリニューアルイベントで配布しました。

東葛エリアの7事業所11拠点からメンバーが参加し、作家さんの小物販売やいつもデポリーに惣菜を出荷している W.Co 菜の花 の惣菜の試食を行いワーコレをアピールしました。「知ってるわよ」という組合員の方もいましたが、まだまだ認知度は低いと痛感しました。

虹の街の「秋のつどい」が各地域で開催された際にワーコレの話しをし、2人がワーコレ樹の研修に入りました。今後もワーコレの輪が広がっていくことを期待しています。

東葛エリア担当理事 新谷美枝子



京葉エリア

虹の街該当ブロック
千葉・ベイ・市原ブロック

京葉エリアは、W.Co 樹(デポー)・ワーカーズ結(配送)・わっふる(生活支援)・からころ(惣菜)・まどれーぬ(厨房施設)と多様な業種のワーコレ事業所の10人で構成されています。

2カ月に1度、エリア会議を開催し、多様なワーコレを強みとして、さまざまな情報を持ち寄り共有しています。

年間方針には「虹の街組合員や地域の方々にワーコレの働き方を少しでも知ってもらおう!」ということ掲げています。

毎年、船橋市で開催されている「船橋子育てメッセ」に参加し、4回目となります。来場した子育て中のお母さんたちにワーコレを紹介し(すぐにメンバーとして仲間になるといった実績はありませんが)、記憶のどこに残してもらえればと思っています。

虹の街の組合員には、働くことについて話し合う場として「はたらこcafé」を年に1~2回開催しています。ワーコレのことだけでなく、参加者同士で子育てや仕事悩みなどをゆったりとした時間のなかで話し合い、私たちの仕事も紹介しています。

日々の仕事のなかで行うエリア活動は、限られてしましますが、できるだけ多くの人と繋がっていけるように取り組んでいます。

京葉エリア担当理事 花田恵子



下総エリア

虹の街該当ブロック
佐倉ブロック

下総エリアでは、佐倉市江原台のW.Co ういずねこの手佐倉オアシスにて、8事業所のメンバーが集まりほぼ毎月エリア会議を開催しています。

10月、デポー木刈の「秋のデポーまつり」に出店し、ワーコレの事業紹介と案内を行いました。W.Co 風車のリュースカップを使用して森のコーヒー試飲、生前から相談できる W.Co 葬祭さぽーと千葉 の事業についても紹介しました。



下総エリアの拠点ともいえる京成臼井駅近くの佐倉市御伊勢公園でのアグリ農業フェスタでは毎年恒例で出店し、W.Co ハーブのお弁当などを販売しながらワーコレをアピールしています。

また、事業向上のための学習会を開催し、新しい事業を模索しています。W.Co 回転木馬では虹の街おたすけクラブのお片付け事業、W.Co ういずねこの手佐倉では地域のエコロディネーターを受託するなど、新たな取り組みが始まっています。

下総エリア担当理事 日下景子

写真

東葛：ワーコレの顔かお♪

京葉：子育てメッセ説明中！ワーコレの働き方って？

下総：デポー木刈「デポーまつり」にて。ワーコレ千葉25周年のテーマ「生きる つながる 働く」

イベント・情報

『おだやかな革命』上映会

大きなシステムに依存せず、自らの暮らしを支えるエネルギーを自治しながら、「あたり前」にあったはずの、本当の豊かさを取り戻していく…そんな彼らの、穏やかな、そして力強い挑戦の姿を描いたドキュメンタリー映画（監督：渡辺智史）を上映します。生活クラブ風車「夢風」と秋田県にかほ市との風車を通じた都市と地方の連携の実践が描かれています。

2月1日（金）10：00～12：00

場所：美浜文化ホール

千葉市美浜区真砂 5-15-2

託児：あり

担当：組織部 宮間 043-278-7172

ブロック企画

きばる消費地交流会

1月18日（金）10：00～12：30

長浦公民館（袖ヶ浦市）

託児あり 定員 20 人 参加費 300 円

担当：塚本 0436-60-1583

革の端切れでアクセサリー作り

1月21日（月）10：00～12：00

デポー大津ヶ丘 地域交流スペース陽だまり

託児あり 参加費 300 円（ゲスト 400 円）

担当：児玉 04-7134-3801

Let's 美ママ筋トレ & ランチ

1月21日（月）10：00～13：00

センター柏 託児あり

参加費 200 円 + 講師代 300 円

担当：児玉 04-7134-3801

オレンジカフェ風の村

1月22日（火）13：30～15：00

生活クラブ風の村 流山サポートハウス

地域交流スペースから風流

参加費 100 円

担当：児玉 04-7134-3801

正絹で組みひも

1月23日（水）10：00～12：30

デポーおおたかの森 地域交流スペースこだち

参加費 300 円

担当：児玉 04-7134-3801

耳ツボジュエリー

1月24日（木）10：30～15：00

デポーおおたかの森 地域交流スペースこだち

参加費 500 円（ゲスト 600 円）

担当：児玉 04-7134-3801

きばるの甘夏生産者交流会

1月25日（金）10：30～13：00

センター松戸

託児あり 定員 20 人 参加費 200 円

担当：鈴木 047-385-4646

アロマ香るリップバーム作り

1月28日（月）10：30～13：00

デポーおおたかの森 地域交流スペースこだち

参加費 500 円（ゲスト 600 円）

担当：児玉 04-7134-3801

アロマウォーターの蒸留

1月29日（火）10：30～12：30

デポーおおたかの森 地域交流スペースこだち

託児あり 参加費 400 円・材料費 600 円

担当：児玉 04-7134-3801

カモミールメイキング

みんなで味噌作り 遺伝子操作を知ろう！

1月30日（水）10：00～12：30

センター松戸 託児あり 定員 12 人

参加費 500 円（味噌 1kg 分）+ 軽食 300 円

担当：鈴木 047-385-4646

肌と環境にやさしい

布ライナー（布ナプキン）作り

1月30日（水）10：00～12：00

アミューズ柏和室 託児あり

参加費 200 円（ゲスト 300 円）

担当：児玉 04-7134-3801

折り紙で遊びましょう♪お汁粉付き

1月30日（水）10：00～12：00

デポー大津ヶ丘 地域交流スペース陽だまり

参加費 300 円

担当：児玉 04-7134-3801

『Paper Lanterns 灯籠流し』上映会
& 地域集会

1月30日（水）10：00～12：30

緑が丘公民館 4F 和室（八千代市）

託児あり 定員 15 人 参加費 200 円

担当：清松 043-278-7629

味噌作り & 地域集会

ランチ & ちょこっとみやげ付き♪

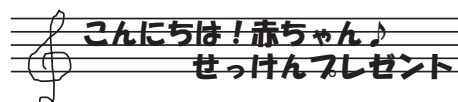
1月31日（木）10：00～13：00

谷津コミュニティセンター調理室（習志野市）

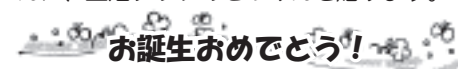
託児あり 定員 15 人 参加費 400 円

担当：清松 043-278-7629

※掲載のブロック企画は、所属ブロック以外の方も参加可能。参加費の表示のないものは、無料です。



せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。



小泉 伊智（いさと）くん	2018.03
原田 悠平（ゆうへい）くん	2018.06
岩崎 正太郎（しょうたろう）くん	2018.06
秋濱 和良（かずよし）くん	2018.08
浅田 陽奈子（ひなこ）ちゃん	2018.08
橘 颯太郎（そうたろう）くん	2018.09
城長 幸（こう）ちゃん	2018.09
中尾 心祐（しんゆう）くん	2018.10

募集 シャボン玉月間ポスター原画 賞金 30,000 円！

生活クラブ虹の街は、せっけん運動ネットワークに加入し、せっけんの利用をすすめ、毎年7月をシャボン玉月間として、ポスターや配送車にマスクをつけて環境問題を地域にアピールしてきました。

2019 年も皆さま（ご家族も可）からポスターを募集します。

サイズ：A3 色：カラー 応募締め切り：3月1日（金）必着

コピー（必ず入れる文字）：1 月中旬決定予定

（HP、コルザ 2 月号でお知らせします）

送り先：〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 生活クラブ虹の街 組織部宛

データの場合 e-mail：ryousuke.miyama@s-club.coop

詳しくは 2 月中旬以降の HP または担当まで。担当：組織部 宮間 043-278-7172



昨年のポスター

あなたの 2 票が...



エコロ福祉基金
組合員投票・応援メッセージ
にご協力ください。

別紙投票用紙を提出してください。

配布 1 月 7 日～

回収締切 2 月 15 日

※ホームページからも投票できます。

担当：福祉・たすけあい事業部

理事長メッセージ&申込書



2019 新年あいさつ



理事長
木村 庸子
つねこ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、テレビ番組や雑誌や新聞など各メディアで生活クラブが取り上げられる機会が多い年でした。また、生協法制定70周年記念での厚生労働大臣表彰や、全国の組合員で1994年から取り組んでいるグリーンシステムが環境省グッドライフアワードの大臣表彰を受賞しました。これらは、おおぜいの組合員が続けてきた「日常の生活から社会を変える」共同購入運動が社会的に評価されたのだと思います。

この共同購入に欠かすことができないのは生産者との連帯です。秋に開催した「虹いろフェスタ2018」は、組合員・職・生産者が一丸となって当日を盛り上げ、おおぜいの人が生活クラブの取り組みを再確認する場となりました。

現在、日本の食料自給率の低さは、人間が生きるのに必要な食料を他国に頼っている表れであり、食料主権が奪われることに繋がります。ゲノム編集による技術開発のスピードは非常に速く、種子を守り、自然豊かな日本の農業と信頼のおける食をこれからどのようにつくり続けていけるのか、組合員としてできることは何なのか、考え行動していくことが問われていきます。生活クラブの一員として食の未来に繋がる活動に取り組んでいきましょう。

そして北海道胆振東部地震をはじめ大型台風被害や豪雨災害など昨年も災害が多く発生しました。被災された皆さまに哀悼の意を表しますと共に一日も早い復興を願っております。地球規模で大災害が頻発していることから、地球温暖化抑止に向けたCO₂削減への積極的な参加が必要です。また、脱原発と再生可能エネルギーの社会づくりに向けて「生活クラブでんき」の共同購入を選択する組合員が増えていくことを希望しています。

また、社会的孤立がすすみ地域の共同体が失われつつある現代において、私たちは改めて地域で協同し、地域での繋がりを豊かにする必要性を考えて行動していきたいと思っています。生活クラブ千葉グループや意思ある団体とも連携し、地域共生社会づくりに向けて「私たちにできること」を今年も展開していきましょう。皆さんにとって良い一年でありますように。

コルザ 1 月号

申込書・申請書・コルザアンケート

組合員氏名		組合員番号		申込締切
参加希望は○	2/1『おだやかな革命』上映会	同伴者（人）お名前	(家族・組合員・員外)	1/18
託児 (ひらがなで)	なまえ / (男・女) 才 カ月 アレルギー (有・無) なまえ / (男・女) 才 カ月 アレルギー (有・無)			
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)				
赤ちゃんの なまえ	ふりがな (男・女)	赤ちゃんの生年月	20 年 月生まれ	1歳の誕生日の前日までに申請
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。 (はい・いいえ)				
コルザアンケート コルザ作成の参考にさせていただきます。		コルザ__月号を読んで ①よかった・おもしろかった記事 タイトル「」__ページ ②その理由など ③その他 ご意見・ご希望など		

*せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。
対象は組合員のお子さんで、1歳未満の赤ちゃん。1歳の誕生日の前日までに申請してください。
*いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。
*企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

上映会/組織部 宮間、コルザアンケート/組織部 鈴木

事務局記入欄 センター/デポー、配達コース () - ()

1 月のデポー



イベント案内



デポー
の
お休み

- ・1 月は 6 日 (日) オープン
以降 1 月はお休みはありません。
- ・2 月は 10 日 (日) お休みです。

日	月	火	水	木	金	土
6 新年オープン新春フェア	7 せっけんの街の日 *せっけんの街の せっけんなど 5% off	8 →園生・大津ヶ丘は 1/8	9 米育ち 黒豚の日	10 米育ち 黒豚の日	11 ほうきね牛入荷 冬あったか旨いものフェア①	12 ほうきね牛入荷 冬あったか旨いものフェア②
13 みそウィーク (～ 20)	14 みそウィーク (～ 20)	15 ビジョンフードの日	16 みそウィーク (～ 20)	17 米育ち 平牧金華豚の日	18 みそウィーク (～ 20)	19 ほうきね牛入荷 寒の市
20 冷凍品お買い得 2パック 以上で 5% off	21 柑橘フェア 漬魚ウィーク (～ 27)	22 漬魚ウィーク (～ 27)	23 古川りんご園まつり	24 古川りんご園まつり	25 寒の市	26 ほうきね牛入荷 寒の市
27 日曜市	28 バレンタインウィーク (～ 2/14)	29 バレンタインウィーク (～ 2/14)	30 バレンタインウィーク (～ 2/14)	31 バレンタインウィーク (～ 2/14)	メールマガジン あなたの携帯にデポーの情報が届きます 登録無料	

新年オープン新春フェア (1/6・7)

新学期の朝食と洋風夕食素材がお得。

開拓牛煮込み用・スライスロースハムなど

5% off

冬あったか旨いものフェア① (1/11・12)

米育ち三元豚バラしゃぶしゃぶ用・白だし 500ml

マルモ青木味噌の甘酒など

5% off

生産者紹介：みそウィーク (1/14～20) マルモ青木味噌

生活クラブの味噌と生産者のマルモ青木味噌醤油醸造場をご紹介します。

V ビジョンフード鶏卵の日 (1/15) 1 月のテーマは「鶏卵」

国産鶏種「さくら」「もみじ」のたまごをご紹介します。

冬あったか旨いものフェア② (1/18・19)

あったかメニューで体の芯から熱々に！

米育ち三元豚バラ薄切り・万能つゆ 500ml など

5% off

生産者紹介：漬魚ウィーク (1/21～27) 泰山食品

漬魚や明太子などでおなじみの泰山食品をご紹介します。

おすすめ品

5% off

寒の市 (1/25・26) 寒い夜はやっぱりなべで！

開拓牛と米育ち三元豚のしゃぶしゃぶ用

ポン酢醤油・冷凍ゆでうどんなど

5% off

バレンタインウィーク (1/28～2/14)

バレンタインも生活クラブのチョコレートで！

おすすめのチョコレートや「歩」のクッキーなどをご紹介します。

旬の野菜・くだものがお買い得になる日曜青果市開催。
ジュース類は通常の箱値引きよりさらにお得 (一部対象外品あり)

おすすめレシピ：鶏むね肉の☆ハニーマスタード

鶏肉ムネ・純粋はちみつ 600 g

5% off



生産者に会いにデポーへ GO!

人気消費材の生産者がやってくる！

真砂	16/ コーミ (トマトケチャップ)、19/ 丸善食品工業 (カレー ルウ)、25/ グリーンリーフ (こんにやく)、26/ 新生わた らい茶 (お茶)、30/ 丸和食品 (がんもどき)
浦安	18/ オルタフーズ (中華まんじゅう)、19/ (14:00 まで) こめや食品 (練り物)
みつわ台	12/ 新生酪農 (牛乳)、28/ 井筒屋 (即席にゅうめん)
新松戸	12/ 黒姫和漢薬研究所 (黒姫山草茶)、19/AIC たまご、 25/ 井筒屋 (即席にゅうめん)
大津ヶ丘	16/ マルモ青木味噌醤油醸造場 (味噌)、25/ オルタフ ーズ (中華まんじゅう)、31/ トーエー (ノンカップ麺)
松葉町	15/ スリーエイト (はちみつ)、 26/ 井筒屋 (即席にゅうめん)・AIC たまご
木刈	25/ ハイム化粧品
園生	18/ スリーエイト (はちみつ)、23/ マルモ青木味噌醤油 醸造場 (味噌)、28/ トーエー (ノンカップ麺)
おたかの森	21/ 高千穂漢方研究所 (はと麦茶)

ポイント制度実施中！

デポーカードの提示でポイントがつかます。500
ポイントで500円のクーポン券発行。デポーカ
ードをお持ちなら、班・個別配送の方も対象です。

